

●●● 八王子駅南口周辺地区まちづくり方針 概要版 ●●●

まちづくり方針とは？

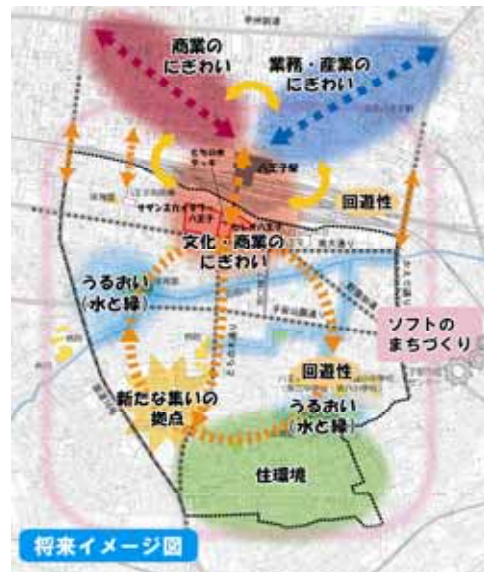
八王子市都市計画マスタープランにおいて示す南口周辺地区の将来像を実現するために、南口周辺地区が目指すべき基本的な方向性やそのための取り組み方針をより具体的に定めたものです。

まちの将来像

個性的なにぎわいと良好な住環境が調和した
歩いて楽しい文化の香るまち

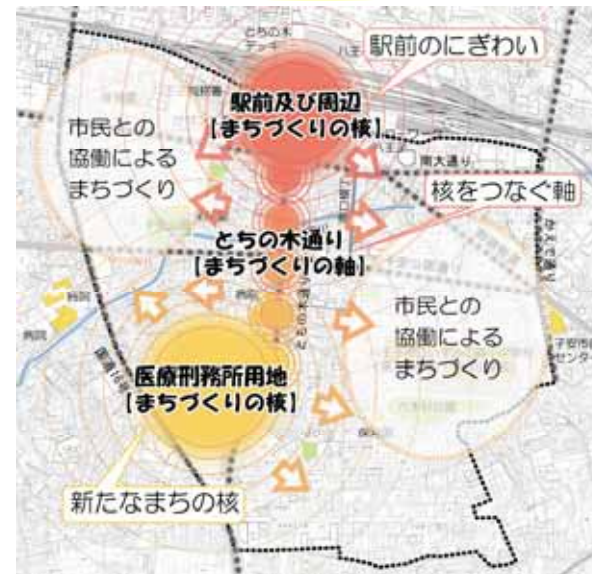
八王子駅南口では、文化を発信する新たなにぎわいと憩いの拠点であるオリンパスホール八王子を中心に、個性的な店舗などが展開されつつあり、地区の南側では緑や水辺を身近に感じる閑静な住宅地が広がるなど、北口の商業・業務系のにぎわいとは趣の異なるまちなみとなっています。

これより、南口周辺地区では、従来のまちなみのよさを活かしたまちづくりに取り組み、個性的なにぎわいと文化を感じるまちを目指します。



まちづくりの展開の考え方

核と軸を中心にまちづくりに取り組みます！



まちづくりの推進体制

地区住民、市民活動団体、民間事業者等とともに、
今後のまちづくりについて考え、協働のもと、
持続可能なまちづくりに取り組みます！



～南口のまちづくり3ステップ～

Step1【まちづくりについて考える！】

地区の大きなまちの変化を契機に、地区の住民や市民活動団体、民間事業者と行政との間で情報共有を図り、これからのまちづくりについて地区で考えるきっかけをつくります。

Step2【試しにやってみる！】

イベントの開催や社会実験の実施、まちづくり事業に関する勉強会の開催など、まちづくりの実現に向けた地区の取り組みを支援します。

Step3【検証する！改善する！活用する！】

取り組みの結果を検証し、今後のまちづくりをよりよいものにするための方策について考えます。必要に応じて、まちづくりルールや都市計画制度を活用したまちづくりの推進を図ります。

上記の考え方を踏まえ、地区内にゾーン及び動線を設定し、それぞれの「まちの将来イメージ」と「取り組みの方針」を示し、方針の実現に向けて地区住民・事業者とともに取り組みます！

ゾーン別の取り組み方針：エリアごとの特徴を活かしたまちづくりを目指します！

まちづくりの核

土地利用の高度化やにぎわいの形成などの取り組みを積極的に進めます。

市の南玄関口にふさわしいにぎわいの創出を図る
「にぎわい集積ゾーン」

新たなまちの核となる「新たな集いのゾーン」

周辺のエリア

既存の地域資源を活用しながら、各ゾーンの将来イメージの実現に向けて、地区住民との協働によるまちづくりに取り組みます。

にぎわいと住環境の調和共存を図る
「まちなみ融合ゾーン」

利便性と地域性を兼ね備えたコミュニティの中心となる「コミュニティゾーン」

ゆとりある住環境を保全する「居住ゾーン」



動線別の取り組み方針：既存の空間を活かして回遊しやすいまちづくりを目指します！

まちづくりの軸

地区のシンボルにふさわしいにぎわいや景観の形成等に向けて、地区住民や沿道の地権者とともに検討・協議を進めます。

まちの核をつなぎにぎわいを生み出す
「シンボルロード」

動線

各動線の将来イメージの実現に向けて、既存の道路の機能や沿道の空間を活かしたまちづくりを地区住民との協働により進めます。

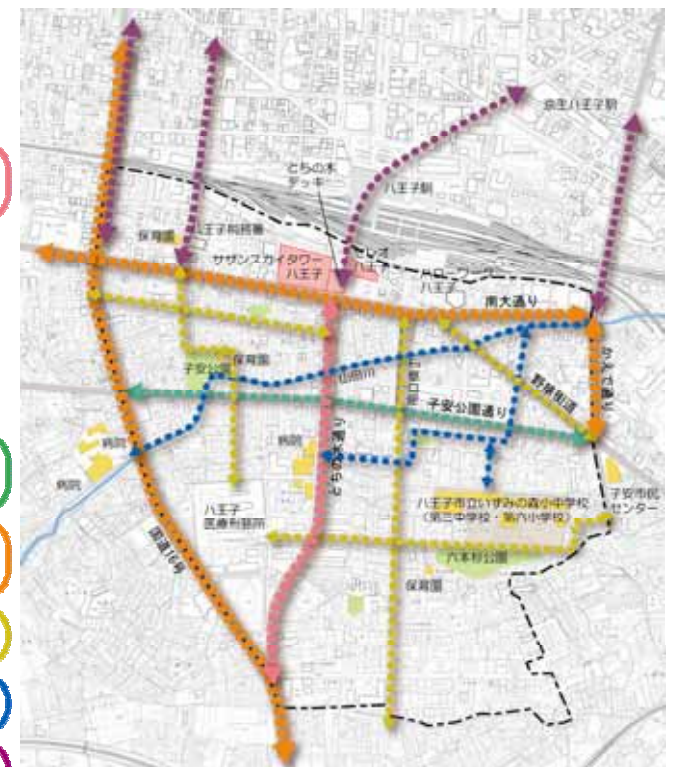
地区の東西の軸であり、住民の利便性に寄与する
「東西アクセス道路」

自動車の交通を処理するとともに地区のにぎわい形成にも寄与する「主要アクセス道路」

地区内の回遊性を高める「歩行空間創出道路」

地区にうるおいをもたらせる「散策路・水路」

南北のつながりを生み出す「南北連絡道路」



まちづくり方針

★にぎわい集積ゾーン【まちづくりの核】★

・南大通り以北のエリア

将来イメージ

南口駅前、買い物や食事、芸術鑑賞、イベントなどの様々な活動を楽しめる一体的・連続的なにぎわい空間が生み出され、市内だけでなく市外からも多くの人が訪れる、“にぎわいの拠点”となっている。

取り組み方針

◎八王子の南玄関口としてふさわしい“にぎわいの拠点”の形成に取り組みます。

(主な取り組みの方向性)

- 駅前広場などの公共空間を有効に活用できる仕組みづくり
- 土地の高度利用に向けた土地・建物所有者及び地区住民などのまちづくりへの合意形成の促進
- 道路などの基盤整備にあわせた用途地域の変更や市街地整備事業などの必要性の検討
- 適正な土地利用を誘導する仕組みづくり

・南大通り以南のエリア

将来イメージ

個性的な店舗などが住宅の間に点在し、訪れた人が、歩いて店を探すのが楽しくなるような路地空間が生み出され、まち歩きを楽しむ人々にぎわっている。

取り組み方針

◎既存のまちなみのよさを活かした、歩いて楽しめる奥行きのある南口独自のにぎわい形成に取り組みます。

(主な取り組みの方向性)

- イベントの開催やマップ作成等、店舗出店者や地区住民によるまちづくり活動への支援
- 個性的な店舗を出店しようとする事業者への支援
- 地区住民が望むまちづくりの実現に向けた地区住民によるまちづくりルールの策定などへの支援

★まちなみ融合ゾーン★

◎良好な住環境の保全と新たなにぎわい創出のための土地利用をすすめ、にぎわいと安らぎが融合したまちなみの形成に取り組みます。

★コミュニティゾーン★

◎子どもから高齢者まで幅広い世代が交流しあい、快適に暮らし続けられる利便性と地域性を兼ね備えたまちづくりに取り組みます。

★居住ゾーン★

◎緑やうるおい、住民の利便性を高め、坂の上に広がる閑静な住宅地としての価値の保全・向上に取り組みます。

★新たな集いのゾーン【まちづくりの核】★

将来イメージ

医療刑務所用地等のまとまった敷地を活かし、地区へ新たな来訪者を呼び込むまちの核として、子どもから高齢者まで多世代が集い交流し、周辺環境と調和した、文化を感じる場所として整備されている。

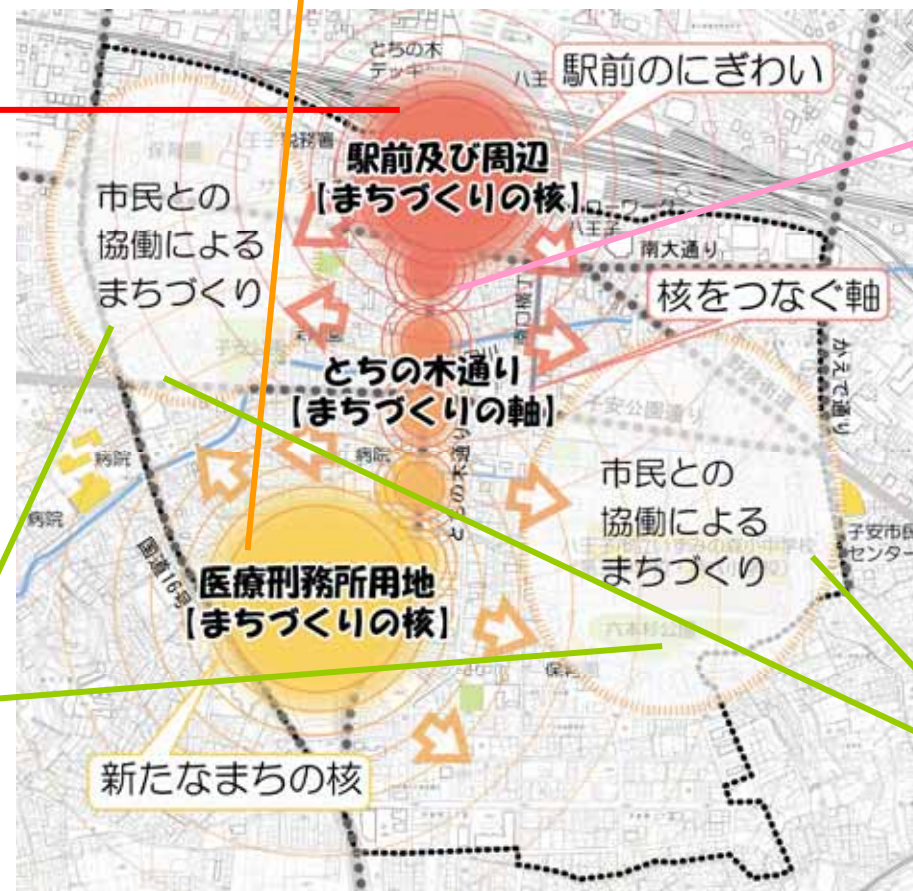
さらに、災害時には地域住民の安心・安全を確保し、地域の防災性の向上に資する場所となっている。

取り組み方針

◎「まちの核となるにぎわいの機能+誰もが集う癒しと防災の機能」の形成に取り組みます。

(主な取り組みの方向性)

- 地区の新たなにぎわいと文化を感じる空間としての公共公益施設等の整備と、防災機能を兼ね備えた緑地・集いの空間としての整備
- 子どもたちがのびのびと遊べる広場や、来訪者や地区住民の交流の場となる機能も取り入れた空間の形成
- 周辺の駅や地区との回遊性、自動車交通のつながりに配慮した地域とつながりのある集いやすい空間の形成
- 周辺環境と調和したまちなみや景観の形成を図るための都市計画の変更やまちづくりルール等の策定の必要性の検討



★シンボルロード【まちづくりの軸】★

将来イメージ

とちの木通りは、駅南口と新たな集いのゾーンをつなぎ、多くの人々が往来する地区内のシンボルロードとなっている。

また、沿道には買い物などを楽しめる店舗が並び、多くの人々が安全・快適に楽しく往来できる空間となっている。

さらに、沿道建物のデザインやスカイラインの統一、緑化等が行われ、まちのシンボルにふさわしい良好な景観が形成されている。

取り組み方針

◎地区の“シンボルロード”にふさわしい景観と、にぎわいの形成に取り組みます。

(主な取り組みの方向性)

- シンボルロードにふさわしい景観の整備や、快適に往来できる環境の形成、沿道のにぎわいの形成など、地区住民が望むまちづくりの実現に向けた地区住民によるまちづくりルールの策定などへの支援
- 地区のまちづくりに対する機運の高まりに応じた、土地の有効活用を促すための用途地域・高さ規制の変更や敷地の共同化の促進などの検討
- とちの木通りが貫く「にぎわい集積ゾーン」「コミュニティゾーン」「居住ゾーン」「新たな集いのゾーン」のそれぞれの特徴に配慮した沿道の土地利用の誘導
- 既存の道路空間を活かした幅員構成の見直しによる歩行空間の創出や、坂道などの地形に配慮した休憩スペースの設置による自分のペースで安心・安全に移動できる工夫
- 駅前周辺の駅から地区内へ歩行者が回遊しやすくなるような工夫
- 歩行者と自転車利用者がともに安全で快適に移動ができるような方策の検討

★東西アクセス道路（子安公園通り）★

◎地区の東西の軸として、住民の生活利便性と安全性の確保に取り組みます。

★主要アクセス道路（国道16号、南大通り、かえで通り）★

◎地区の自動車・自転車交通の主軸として、交通処理機能の向上に取り組みます。

★歩行空間創出道路★

◎歩行者交通の主軸として、歩くことが楽しくなるような空間の創出に取り組みます。

★散策路・水路★

◎南口の特徴である豊かな緑・水辺に親しめる空間の創出に取り組みます。

★南北連絡道路★

◎すべての交通手段において、駅南北の往来のしやすさを高め、回遊性の強化に取り組みます。